

令和6年度第2回
蓮田市地域包括支援センター運営等協議会会議録

- ・日 時 令和6年10月11日(金)午後1時30分～午後2時30分
- ・場 所 市役所西棟第3会議室
- ・出席状況

会長	八代 皇璽	出席	委員	石井 純子	出席
副会長	森田 愛	出席	委員	田口 悟	欠席
委員	石川 智子	出席	委員	吉田 浩二	出席
委員	西片 友	出席	委員	細野 美佐子	出席
委員	阿部 ミチヨ	出席			

- ・出席職員（事務局）

健康福祉部 森上部長
在宅医療介護課 鈴木課長、小澤副主幹
長寿支援課 深井課長、中地副主幹、福森主任
蓮田市蓮田地域包括支援センター 石山センター長
蓮田市閩戸平野地域包括支援センター 高島センター長

- ・傍聴者 0人

- ・会議内容

1 開 会 … 森上部長

2 あ い さ つ … 八代会長

- ・事務局による出席・欠席委員の報告及び会議成立の報告
- ・傍聴人の報告 … なし
- ・配布資料の確認 … 次第、「蓮田市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正（案）について」、「蓮田市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例」、「令和6年度地域包括支援センター事業実施状況報告」、「令和6年度地域包括支援センター自己評価表」

3 議 題

- ・八代会長が議長となり進行

（1）蓮田市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定

める条例の一部改正について（審議）

・事務局より、蓮田市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部改正について説明。

会長：今回の条例改正に至った背景情報は。

事務局：現在の人員配置基準を満たすように常勤の職員を各地域包括支援センターに配置しています。健康問題など様々な事情で退職する職員がいる際は、速やかに新規職員を採用するように努めていますが、専門職の採用には時間を要しますので、職員配置の柔軟化ができることは必要と考えます。

委員：職員の退職は賃金など、処遇に問題があるのではないかと。

事務局：全国的に人員が不足している中で、特に介護関係の職員は不足しています。確かに委員のおっしゃるとおり処遇の面を改善しないと根本的な解決にはならないというご意見もあると思います。今回の改正は全国的なものでして、「介護保険制度の見直しに関する意見」として国の社会保障審議会介護保険部会において議論されたものです。この中で、地域包括支援センターの職員配置については、3職種の配置は原則としつつ、センターによる支援の質が担保されるよう留意した上で、複数拠点で合算して3職種を配置することなど、各地域が連携することで人員配置基準を満たしていくという方向性が定められています。根底には人材確保の難しさなどもあると思います。待遇面については市としても努力していく必要がありますが、改正については国で示された趣旨に従って行うものです。

委員：地域包括支援センターを圏域ごとに分割して運営していることと今回の複数合算という考えは矛盾するのではないかと。

事務局：圏域分割は担当する地域に対しての責任はもちろんありますが、今回の改正の趣旨には、それぞれの地域が相互に支え合い連携していくという視点もありますので、その点を踏まえて運営に携わっていきたいと思います。

議題（1）について、総員承認。

・改正後の対応について追加審議。原則として、職員の基準及び員数については、柔軟化によらず、基準の配置を遵守するものとするが、柔軟化の適用が必要な場合の対応案について採決。

「協議会の開催は、年に数回であるため、審議が必要な時期に開催がない場合の対応については、協議会会長に承認をいただき、次回の協議会において、報告、追認いただく。」ことで承認。

（2）地域包括支援センターの運営について

① 令和6年度上半期 地域包括支援センター事業実施状況（報告）

・事務局より、令和6年度上半期 地域包括支援センター事業実施状況報告について説明。

委員：相談・支援種別内訳のうち、「生活・家族」の相談内容は。
事務局：老老介護や8050問題といった内容の相談が多いです。

② 令和6年度上半期 地域包括支援センター自己評価（報告）

・事務局より、令和6年度上半期 地域包括支援センター自己評価報告について説明。

委員：今後高齢化がさらに進んでいくなかで、民生委員の方の存在が非常に大きいと思うが、現状について伺いたい。

委員（民生委員）：担当する地域では高齢者が多く、すべての家に訪問することは難しい状況です。民生委員としてやるべき案件はとて多く、人数が不足しているという現状です。

③ 委託地域包括支援センター次年度継続運営の可否について（審議）

・令和6年度上半期の各センターの実施状況及び自己評価に関する報告を踏まえ、引き続き黒浜圏域については市直営で、蓮田圏域及び閏戸・平野圏域については、委託にて運営する体制で継続実施してよろしいか、また、その際の委託法人としては、令和7年度も引き続き蓮田圏域については社会福祉法人元気村、閏戸・平野圏域については社会福祉法人吉祥福寿会としてよろしいか、審議依頼。

議題（2）の③について、総員承認。

（その他）

・事務局より次回協議会の予定について説明。

4 閉 会 … 森田副会長よりあいさつ。